

- 問1 東南アジアのインドシナ半島において、その東側の沿岸部に南北に長く位置し、近年では安価で豊富な労働力を背景に多くの日本企業が進出している国を選びなさい。(2017年 長崎県公立入試 類似)
1. ベトナム 2. タイ 3. インドネシア 4. フィリピン
- 問2 熱帯や亜熱帯の地域において、現地の住民や移民などの安価で豊富な労働力を利用し、カカオ豆や茶、コーヒー豆といった特定の作物を大規模に栽培する大農園を何と呼びますか。最も適切な用語を選択してください。(2017年 佐賀公立入試 類似)
1. プランテーション 2. 自給用農業 3. 混合農業 4. オアシス農業
- 問3 日本の製造業における賃金水準を100とした場合、2018年の統計ではマレーシアが13、ベトナムが9となっています。このような賃金の格差を背景として、日本の多くのメーカーがASEAN（東南アジア諸国連合）諸国に生産拠点を設けている主な目的はどれですか。(2019年 島根公立入試 類似)
1. 現地の安価な労働力を活用することで、製品の生産コストを抑えるため 2. 現地の高度な先端技術を導入し、日本にはない新しい製品を開発するため 3. 鉄鉱石や石油などの豊富な原材料を、採掘したその場で加工するため 4. 現地の安定した電力網を利用し、工場での電力消費コストを削減するため
- 問4 世界全体の農産物生産量を示すデータにおいて、アジア州が約9割近くを占める「米」や「茶」のほかに、東南アジアなどでプランテーション（大規模農園）を中心に栽培され、世界生産の多くを占めている作物はどれですか。(2025年 秋田公立入試 類似)
1. 天然ゴム 2. オリーブ 3. ブドウ 4. てんさい
- 問5 インドにおいて、高度な知識や技術を持つ人材を背景に、世界的な拠点となっている産業の名称として正しいものはどれか。(2017年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 情報技術産業（IT産業） 2. 繊維工業 3. 石油化学工業 4. 自動車工業
- 問6 インドを中心に約12億人の信者を持ち、世界全体の宗教別人口割合においてキリスト教、イスラム教に次いで3番目に多い約15.2パーセントを占める宗教について、その特徴として正しい説明を選んでください。(2026年 高知公立入試 類似)
1. 牛を神の使いとして大切にすることで牛肉を食べない習慣があり、ガンジス川での沐浴を重視する。 2. 特定の神を持たず、厳しい修行を通じて悟りを開くことを目指し、東南アジアや東アジアに広がった。 3. 唯一神アッラーを信仰し、ラマダーンと呼ばれる断食の期間や、聖地メッカへの礼拝を重視する。 4. イエスを救い主として信じ、世界で最も多い約31.1パーセントの人口割合を占めている。
- 問7 東南アジアの諸地域において、現地の気象局が季節風（モンスーン）の到来を公式に発表し、それがニュースとして大きく報じられる背景として、最も適切な説明はどれですか。(2022年 東京都公立入試 類似)
1. 季節風が吹くと気温が氷点下まで下がり、冷帯のような厳しい冬が始まるため 2. 夏季に降水が極端に少なくなる地中海性気候への対策を講じる必要があるため 3. 降水量の増減が農作物の作柄を左右し、市場の物価に大きな影響を与えるため 4. 一年中安定して吹き続ける風を利用した、風力発電の開始時期を決定するため
- 問8 インドの産業において、デカン高原の存在は農業・工業の両面で重要な役割を果たしてきました。この高原の自然環境と産業の関係についての説明として正しいものはどれですか。(2022年 長野県公立入試 類似)
1. レグールと呼ばれる肥沃な黒色の土壌が分布しており、古くから綿花の栽培が行われ、繊維工業の発展を支えた。 2. ラテライトと呼ばれる赤色の土壌が広く分布しており、高冷な気候を利用した茶のプランテーションが展開されている。 3. 焼畑農業による大規模な森林開墾が進んだ結果、現在は牧草地へと転換され、世界有数の肉牛の飼育地となっている。 4. 標高が高く極めて乾燥しているため農耕には適さず、主にヤクや羊などの遊牧が住民の生活を支えている。
- 問9 中国で長年実施された人口抑制政策の影響を、人口ピラミッドの変化から説明したものとして、最も適切な内容を選択してください。(2018年 徳島公立入試 類似)
1. 0歳から14歳の若年層の割合が極端に狭まっており、出生数が抑制されている 2. 経済発展に伴い乳児死亡率が低下したため、ピラミッドの底が非常に広がっている 3. 高齢者の割合が他の先進国と比較して極めて低く、ピラミッドの頂点が鋭くなっている 4. 生産年齢人口の割合が拡大し続け、若年層から高齢層までが均等な釣鐘型になっている
- 問10 中国がシェンチェン（深セン）などの沿海部の都市を経済特区に指定し、外国企業の進出を促した理由として最も適切な説明はどれか。(2026年 鹿児島公立入試 類似)
1. 海外の進んだ技術や資本を導入して、国内の経済発展を加速させるため 2. 内陸部の農村地帯に工業を分散させ、地域間の格差を解消するため 3. 公営企業の経営を安定させるために、外国製品の流入を制限するため 4. 自国の伝統的な産業を保護するために、関税を高く設定して輸入を抑制するため
- 問11 インドで最も多くの人々に信仰されている宗教に関する記述として、聖なる川とされるガンジス川に多くの人々が集まり、水に浸かって自らの罪を洗い流し、身を清める儀式を行っているものがあります。この「沐浴（もくよく）」と呼ばれる儀式を大切にしている宗教の名前として、最も適切なものはどれですか。(2021年 福島県公立入試 類似)
1. 仏教 2. イスラム教 3. キリスト教 4. ヒンドゥー教
- 問12 インドで最も多くの人々に信仰されており、聖なる川とされるガンジス川などの川辺で、体を清める「沐浴（もくよく）」という儀式が生活の一部となっている宗教を何といいますか。(2023年 山口公立入試 類似)
1. ヒンドゥー教 2. 仏教 3. イスラム教 4. キリスト教
- 問13 アジアの主要国における環境と経済の統計に関する記述として、中国の特色を述べたものとして正しいものはどれですか。なお、比較対象として森林面積割合が0.5パーセント、一人当たり二酸化炭素排出量が14.27トンの乾燥帯の国があるものとします。(2025年 愛知公立入試 類似)
1. 森林面積割合が23.4パーセントと一定の割合で存在し、経済規模の大きさに比例して一人当たりの二酸化炭素排出量も7.76トンと比較的高くなっている。 2. 熱帯に位置するため森林面積割合が60パーセントを超えており、工業化が遅れているため一人当たりの二酸化炭素排出量は1トン未満にとどまっている。 3. 国土の大部分が砂漠であるため森林はほとんど見られず、石油の輸出によって経済が潤っているため一人当たりの二酸化炭素排出量がアジアで最も多い。 4. 四季の変化がはっきりしており森林面積割合は高いが、一人当たりの二酸化炭素排出量は省エネ技術の普及により1トンを下回る極めて低い水準にある。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 ベトナム	インドシナ半島の東側に位置するこの国は、近年「ドイモイ（刷新）」と呼ばれる政策などを通じて市場経済を導入しました。豊富な若年労働力を背景に、中国に代わる新たな製造拠点（チャイナ・プラス・ワン）として、多くの日本企業が工場を置いています。
問2	答え 1 プランテーション	熱帯・亜熱帯地域で、輸出を目的とした特定の農産物を大量に生産する仕組みを指します。かつての植民地支配を背景に発展したものが多く、特定の農産物の輸出に頼りすぎるモノカルチャー経済の原因にもなっています。
問3	答え 1 現地の安価な労働力を活用することで、製品の生産コストを抑えるため	日本と比較して労働賃金が大幅に低い東南アジア諸国に工場を進出させることで、人件費を削減し、製品全体の生産コストを安く抑えることが主な目的です。身の回りの衣類や電子機器にマレーシア製やベトナム製などのラベルが多く見られるのは、企業がこうしたコスト面でのメリットを重視して、労働集約的な産業の拠点を海外へ移した結果です。
問4	答え 1 天然ゴム	タイやインドネシア、ベトナムなどの東南アジア諸国では、熱帯の気候を活かして天然ゴムの生産が盛んに行われています。もともとは植民地時代に開かれたプランテーションで栽培が始められましたが、現在でもアジア州は天然ゴムの世界生産において圧倒的なシェアを維持しています。オリーブやブドウは主に地中海性気候の地域で栽培される作物です。
問5	答え 1 情報技術産業（IT産業）	インドでは1990年代以降、ベンガルール（バンガロール）などの都市を中心にソフトウェア開発などが盛んになり、情報技術産業（IT産業）が経済成長を牽引しています。これは、アメリカ合衆国などとの時差を利用して、24時間体制で開発業務を継続できる利点も活用されています。機械工業や繊維工業も存在しますが、近年の急速な成長と国際的な競争力の象徴となっているのはIT分野です。
問6	答え 1 牛を神の使いとして大切にするため牛肉を食べない習慣があり、ガンジス川での沐浴を重視する。	ヒンドゥー教はインドの人口の多くを占める宗教であり、牛を聖なるものとして崇めるため牛肉を食べないという強い食のタブーがあります。また、ガンジス川は聖なる川とされており、そこで身を清める「沐浴（もくよく）」が日常的に行われています。世界全体の統計では、キリスト教（約31.1%）、イスラム教（約24.9%）に次ぐ規模となっています。
問7	答え 3 降水量の増減が農作物の作柄を左右し、市場の物価に大きな影響を与えるため	熱帯に位置する東南アジアでは、季節風がもたらす雨が農業、特に稲作にとって極めて重要な水源となります。季節風の到来時期や雨の量は、農産物の収穫量、ひいては経済全体や人々の生活物価に直結するため、社会的に非常に高い関心を持たれています。
問8	答え 1 レグールと呼ばれる肥沃な黒色の土壌が分布しており、古くから綿花の栽培が行われ、繊維工業の発展を支えた。	デカン高原に広がるレグールは、水分保持力が高いことから乾燥に強く、綿花の栽培に適しています。この農業的基盤があったことで、ムンバイなどの周辺都市では綿織物工業が発達し、インドの近代工業化の先駆けとなりました。茶の栽培（アッサム茶など）は、より降水量の多い北東部の丘陵地帯などで盛んです。
問9	答え 1 0歳から14歳の若年層の割合が極端に狭まっており、出生数が抑制されている	一人っ子政策によって長期間にわたり出生数が厳しくコントロールされた結果、統計資料における人口ピラミッドの底部、すなわち0歳から14歳の若年層の幅が極端に狭まる形状となりました。これは人口抑制には成功したものの、急速な少子高齢化を招く要因となり、将来の労働力不足といった新たな社会問題を生み出すことになりました。
問10	答え 1 海外の進んだ技術や資本を導入して、国内の経済発展を加速させるため	中国は経済特区において、所得税の減免や行政手続きの簡素化といった優遇措置を外国企業に提供しました。これにより、先進的な生産技術や豊富な外資を効率的に取り込み、遅れていた工業化と経済成長を急速に進める狙いがありました。
問11	答え 4 1 ヒンドゥー教	インドの人口の約80%が信仰しているヒンドゥー教では、ガンジス川は「聖なる川」として崇拜の対象となっています。信者はこの川で沐浴をすることで、現世の罪が浄化されると信じており、宗教生活において極めて重要な役割を果たしています。仏教はインドで誕生しましたが、現在のインドにおける信者数はヒンドゥー教やイスラム教に比べて少なくなっています。
問12	答え 1 2 ヒンドゥー教	インドの人口の約8割が信仰している民族宗教です。古くからのバラモン教に民間信仰が融合して成立しました。生活習慣と非常に密接に結びついており、川の神聖な水で罪を洗い流す「沐浴」は、信者にとって重要な儀式の一つです。
問13	答え 1 3 森林面積割合が23.4パーセントと一定の割合で存在し、経済規模の大きさに比例して一人当たりの二酸化炭素排出量も7.76トンと比較的高くなっている。	中国は広大な国土を持ち、東部の湿潤な地域を中心に森林が分布しているため、森林面積割合はサウジアラビアのような乾燥帯の国よりも高くなります。経済面では、世界第2位の経済大国として工業活動が活発であり、一人当たりの二酸化炭素排出量も経済成長とともに上昇し、約7トンから8トン程度の水準に達しています。